

第四十五回 帝國議會衆議院傳染病豫防法中改正法律案外一件

傳染病豫防法中改正法律
港検疫法中改正法律
植物病理研究所設置
ル建議案

委員會議錄(速記)第二回

生ノ當局ノ者ガ、虚心坦懐ニ何等事ニ感情ヲ混ヘズ仕事ニ當ル事ヲ研究致シ、然ルベキ指導ヲ致スノデアリマスガ、一面ニ於テハ醫師會モ先年法人格ヲ與ヘラレテ法人トナリマシタ、其方面ニ於キマシテハ、大ニ御考ヲ願、テ置カナケレバナラヌノデアリマス、偶ニ此紛争ヲ來シマシテ、ソレガ果シテ警察官ノ方ノ落度カ醫師會ノ落度カト云フコトハ、只今申上ガ兼ネルノデアリマシテ、先づ大觀スレバ事ニ感情ノ阻隔ガアルト云ヘバ、雙方ニ顧ミナケレバナラヌト云フ點ガアルト思フ、其關係ハ一ツ監督ニ在ルノデアリマスカラ、醫師會ト雖モ、内務大臣ト地方官ヲ通ジテ共同ニヤルノデ、兩方ニ依ツテ然ルベキ考慮ヲ爲ス事ガ、今日事ガ圓満ニ行ク譯デアリマス、又最近ノ状況ヲ見マシテモ、決シテ兩者ノ關係ガ惡イ方ニ向イテ居ルトハ信ジナイ、此兩三年ハ追々善イ方ニ向ヒツ、アルト私ハ確信シテ居リマスガ澤山ノ申デ往々ニシテ遺憾ノ事ヲ發生スル、斯ウ云フ事ハ全國デ兩方面カラ改善シテ行キマシタナラバ、必ズ良策ヲ得ル事デアラウト信ジテ居リマス、又傳染病豫防法ノ維持促進ニ關スル事モ、官民ガ協力一致シテ行ツタナラバ、其結果適當ナ成績ヲ擧ゲ得ルグラウト思ヒマス、サウ信ジテ居リマス○中馬委員　此ハ「トレーゲル」ノ病類デゴザイマス、是ハ十種傳染病ノ中何々デゴザイマスガ、ソレガ「トレーゲル」トシテ學術上検査シ得ルモノハ、何々ト心得テ宜シウゴザイマスカ

○潮政府委員　詳シクハ一二ノ意見デナク申上ゲマスガ、只今法ニ規定サレテ居リマスノハ「コレラ」、「赤痢」「チフス」、「バラチフス」「デフテリヤ」、流行性感冒、是ダケト考ヘテ居リマス、六病ノモノカト承知致シテ居リマス

○中馬委員　是ハ頂戴シタ第八條ノ二ノ二項ノ命令ノ内容ノ中ノ、其ノ一二「猖狂熱ト云フ項ガアリマスガ、是ハ「トレーゲル」トシテ御扱ニナルカ、其根據ガ承リタイ

○内野政府委員　是ハ印刷ニアリマス

○中馬委員　消毒所トカ、ソレカラ細菌検査所デアリマスガ、此細菌検査所ノ活動ニ依ツテ、「トレーゲル」ヲ餘計見出シ得ルトカ、得ナイトカデ決マルノデアリマスガ、又消毒上ノ設備如何ニ依ツテ、豫防ノ實ヲ学ゲル事が出來ルノデアリマスガ、サウ云フ消毒所トカ、或ハ細菌検査所ノ施設ガ、場所ニ依ツテハ甚ダ不完全デアル所モアリマス、縣マデ持ツテ行クニモ、遠隔ノ土地カラ中々急ニ問ニ合ハヌト云フヤウナコトモ、隨分アユヤウニ思ヒマスガ、之ヲ普及スルト云

駐在巡查ハ丁度其處ニ居ラナイコトガ澤山アル、其場合ニ
非常ニ困ルデス、ソコニ處分ニ困ルカラ、醫者ガ便宜上自宅
へ歸ラセルト云フト罰ヲ受ケルノデス

○潮政府委員共點ハ如何デセウカ、醫者ノ所在地ノ更賀ノ認可ヲ受ケレバ他ニ移セルノデスガ、自由ニ移スト云フコトニシテハ、是ハ豫防上ノ目的ヲ害スルヤウニナルカラ、ソコハムヅカシカラウト思ヒマス、尤モ自宅ニ歸ルマデハ、醫師ノ裁量デ自由ニ歸シテモ宜ケレバ、勤カシテモ宜イト云フコトニ定メルノハドウデセウカ、ソコハ餘程考モノダラウト思ヒマス、豫防上カラ云へバ居村ノ當該官吏ノ認可ヲ得ルト云フコトナラバ、ソレハ困難デセウケレドモ、醫師ノ居村ノ吏負ノ認可ヲ得テカラ動カスト云フコトニシナイ

デ、全ク自由ニ俺ハ患者ヲ發見シタガ、斯ウ云フ事情デアル
カラ一應歸シテヤラウト言ッテ、ドンヽ歸シテシマッテハ
ドウカト思ヒマス、サウスルト先刻申シタ事ト少シ違ッテ來
マスガ、是ハ靜ニ一ツ考ヘテ見ナイトムヅカシイデスナ
○大林委員　患者ガ醫者ノ許ニ居ッテ、醫者ガ自分ノ居村ノ
駐在巡査ニ届ケナケレバナラズ、駐在巡査ハ不在ノ場合ガ
アル又居テモ中々容易ニ來テ呉レナインコデ本署ノ認可

ヲ受ケタカレハナラントカ、非常ニ手續が複雑ノ爲ニ時間
ヲ経過スル、其間患者ヲ置ク場所ガナイ、醫者ノ診斷所ヘ置
ク譯ニモ行カナイ、診斷所ニ置ケバ無論他ノ者ヲ交通サセ
ルコトガ出來ナイ、非常ニ實際上困難ヲシテ居ルノデス、又
町村役場ヘ届ケテモ、醫師ノ居村ノ町村役場ヘ届ケルト、患
者ト村ガ違フノデ、經濟上ノ關係種々ノ點カラ應ジナイ、收
容シナカニ、スルト患者ヲ動カスコトガ出來ナイ、現ニ私ノ方
ノ醫師會ノ會員中ニモソレガ爲ニ處分ヲ受ケテ、一ヶ月ノ

停止マデ喰^タ者ガアリマス、行政處分マデ受ケテ居ル
○潮政府委員 大體法律上ノ處分トシテハ、患者ノ所在地
ト云フガ原則デハアルノデスガ、今ノハ隣村ヘ行ッタ場合デ
アリマスカラ、是ハ一ツ考ヘテ見マセウ、併ナガラ市町村長
デモ宜ケレバ、豫防委員デモ宜シシト云フヤウニ、出來ルダ
ケ廣クシテアルノテス、何所カヘ持^テ行カナケレバ出來ナ
イト云フ場合、ソレハ想像シテ有り得ルノデスケレドモ、ソ

レモ不都合ト云フコトナラバ、豫防が出来ナイコトニナリ
ハシナイカト想ヒマス
○大林委員 實際ハ認可ハ警察官ノミガ與ヘテ居ル、決シ
テ市町村長ナドハ干涉シマセヌ
○八木委員長 一寸速記ヲ止メテ.....

〔此間速記中止〕
○近藤委員 本來此法律ハ二十年モ前ニ出來タノヲ今般改正ナサルト云フノハ、醫學上ノ進歩ヤ、衛生上ノ觀念ガ餘程發達シテ居ツテ、之ヲ直ニ實行スルコトガ困難デアルカラ、

改正スルノガ必要ダト云フコトデ爲サタヤウニモ考ヘラ
レマスガ、併ナガラ局部的ノ改正ハ甚ダ私姑息デアルト考
ヘルノデスガ、根本ニ遡^ツテ此規則ヲ改正スルト云フ御意見

ヲ改正シ様ト企テラレタ御精神ハ何所ニ在ルノデアルカ、又本法ソレヲ伺ヒタイト思フ、此法律ノ大體ヲ通シテ覽ルト、寧ロ私ハ醫者ノ權限ヲ侵害シ、若クハ醫者ノ人格ヲ無視スルト云フ點ガ大變アルヤウニ考へマスガ、醫者ニ對スル懲罰ヲ見ルト、以前ヨリハ或ハ物價騰貴ノ爲ニ値上ラント御考デアルカ知ラスガ、非常ニ高クシテアル、併ナガラ私共ガ考ヘルノハ、本來左様ナ事ヲセズシテ、醫者ニハ相當人格ヲ認メテヤルガ宜カラウト考ヘ居ルノデスガ、如何ニ立派

ニ規定シテモ、醫者ガ之ヲ實行シナケレバ何ニモナラヌ、寧ロソレヨリモ醫者ノ人格ヲ認メテ、醫者ノ方ニ此事ヲ實行シ易イヤウニシテ、概括のノ規定ニ止メル方ガ宜クハナイカト思フ、殊ニ先刻御話ノ通り東京ナドニハ中々天下ニ名ダ、ル大醫モアリ、而モ其等ノ人ガ始終家庭デ傳染病患者ヲ隱蔽スルノハ公然ノ秘密ニナッテ居ル、其等ガ餘リニ規定ガ細密ニ亘シテ、醫者ノ人格ヲ無視シ、又懲罰ヲ嚴ニスルトガ、密ニ貼モ。

○湖政府委員 御答致シマスガ、最初ノ御尋ノ改正ノ形式ニ付テノ點デアリマスガ、全部ヲ改正スルカ、一部ノ改正ニ止メルカト云フコトハ、吾々モ非常ニ考慮シタノデアリマス、成程三十二年カラ二十年餘リナリマズガ、之ヲズット通覽シテ、今日改正ヲシタイト云フ要點ヲ考ヘテ見ルト、凡ソ斯ウ云フヤウナ事デアッテ、是以上ニ涉ルテ根本的ノ改正ヲシテ、殆ド根柢ヲ置スト云フ場合ニナレバ、全部ノ改正モ

相當デアルケレドモ、今日ノ希望トシテハ、強テ之ヲ新シキ形式ニスカリ書替ヘル必要ヲ認メナイ、謂ハ、程度ノ問題デアリマスガ、是ダケノ文字ヲ入レテ置ケバ、此所暫クハ是デ十分デアルト考ヘタ爲ニ、全部改正ハ致サナカッタノデアリマス、ソレカラ醫師ノ人格ナリ、醫師ノ利益ヲ尊重スベシト云フ御議論ハ、私共御同感デアリマシテ、今般改正致シテ居ル條項ノ中ニモ、ソレガ現レテ居ル、例ヘバ第七條ノ規定ト

如キ、律來ノ法ノ體ノ見マスレバ、患者ガアタ場合ニハ、必
要ナラ直グ傳染病院隔離病舎ニ出スト云フコトニナツテ居
ツタノヲ「其ノ他適當ノ場所」ト、云フ簡単ナ文字デアルケ
レドモ私立ノ病院ナリ——ソレガ傳染病院ナラ勿論ノ事、
普通病院デモ相當設備ノアル病院ニハ入レテ宜シト云フ

コトヲ、明瞭ニ法ヲ以テ表ハシタ云フコトハ、私共ハ一面ニハ防疫ノ實績ヲ考へ、一面ニハ醫師及患者ノ便宜ヲ考へテ、斯様ニ致シタ積アリマス、又罰則ノ點ニ於テモ、一見致シマスレバ成程從來ノ罰金料ニ對シテハ、多額ニ上々タ

カノヤウニ見エルケレドモ、又見方ニ依テハ、之ヲ以テ不
十分ナリト云フ説モアリマシテ、モット高クシロト云フ説
モ是ハ官吏側バカリデナク、議員側ニモアル、其ヲ取リマ

シテ吾々ノ大體此邊ナラバ之ニ依テ直ニ醫師者ニ於
嚇スルコトニモナリマスマイシ、又豫防ヲスルニ十分デア
ルト思フ、高キニ失スルト云フコトデアリマスガ、是ハ必シ
モ高キニ失スルト私ハ考ヘナイ例ヘバ先日衆議院ヲ通過シ
タ家畜ノ傳染病豫防法デアルガ、アレナド、比較シテ御覽
ニナツテモ、例ヘバ第三十條ノ醫師ニ關スル問題デアル、家
畜傳染病問題ニ於テ、獸醫ガ同様ナ職ニ違反シタ者ハ、五百
圓以下ノ罰金ニ處セラル、コトニナツテ居ル、若シ普通ノ現
行法カラ申シマスレバ、或ハ豫防法ノ第三十條モ、家畜ト人

間トヲ比較シテ見テ、歯醫ガ五百圓デ罰セラル、ナラバ、醫師ノ五百圓ト云フノハ精神カラ權衡ヲ得テ居リマスガ、豫防法ヲ實行スル上カラ考ヘテ、五百圓ニスル必要ハ無イト認メマシタカラ三百圓ニシタ、各般ノ事情ヲ考ヘレバ、此罰則モサウ高キニモ失シナイ、又低キニモ失シナイト考ヘテ居リマス、御話ノ通り豫防法ノ實行ニハ、固ヨリ官廳ニカノミデハイカヌ、醫師諸君、醫師會諸君ニ協力シテ藏カネ

ハナラヌ、其點ヲ十分考慮致シテ居リマス、又法ハ法トシテ執行スルニ當ダテノ勅令、或ハ省令、訓令、通牒ト云フモノガ澤山出ルト存ジマス、其等ニ於テハ成ベク官憲ト醫師會トノ協力、意思ノ疏通ガ出來ルヤウニ仕組ンデ行キタイト考ヘテ居リマスカラ、大抵近藤サンノ御尋ノ御趣意ノ實行ハ出來ヤウト思フ

付テハ、各傳染病共通ノ方針ヲ以テ臨ンデ居ルヤウニ、大體ニ於テ見ラレルヤウデアリマスガ、之ヲ病類別ニ從ツテ、差別的ニ處置ラシテ置クト云フ御考ハナイデセウカ、例ヘバ「チフス」トカ、赤痢トカ、腸ナドノ疾患ニ對スルモノノトカ或ハ呼吸器病ニ對スルモノトカ云フ風ニ、病類別ニシテ其處置ヲヤツテ行クト云フヤウナ御考ハ無イデセウカ○湖政府委員 御答致シマスガ、現行法ニ於キマシテモ、隔

離病ニ付キマシテハ、先日モ御説明申シテ置キマシタガ、第一此方法ヲ改正スル場合ニ、最も重要ナル事トシテ私共ハ考慮シタノデアリマスガ、何分ニモ之ニ對シテ消滅ナリ、隔離ナリ、交通遮断ナリ、其他ノ事ニ付テ、一々之ヲ書分ケルコトハ混雜ヨ生ジマス、出來ルダケ今日ノ學問ニ合セテ、病

氣々々ニ付テ、消化器病ナラバ消化器ヲ一括ノ出來ルモノ
ナラバ一括致シマスケレドモ、兎ニ角各病別ニ付テ各要項
ニ對シテ規定ヲ掲ゲテ見テ、其上デ施行ノ出來ルモノナラ
バ施行スルコトニ考ヘテ居リマス、御話ノ通りニ私共腹案

ハ持テ居リマニ
○近藤三賀 北間カラ二分専門家、方々カラ即質疑ガアヌ

其後又作「居ナイアーナ」、其附近ニ流すガアルトカ、或ハ其麻

病デナイカト云フ疑ヲ十分ニ懷キタル場合ハ、矢張本病ト
診断シ得ザル程度ニ在ル場合ニハ、疑似症ト認メネバナリ
マセヌ、傳染病ノ診断ハ必シモ患者ヲ診マシタ結果ニ依ル
ノミナラズ、色々ノ他ノ事情ヲモ参考ニセネバナリマセヌ、
テモ吐瀉患者ガアレバ「コレラ」ニ付テハ自然重キ考フ
カネバナリマセヌ、即チ色々ノ傳染病ニ關スル、周囲ノ状況
ヲ考ヘナケレバナリマセヌカラ、サウ云フ場合ニ似テ居ル
症狀ガ無クテモ、其傳染病ノ流行其他ノ關係ニ依リマシテ、
或ハ疑似症デナイカト云フヤウナ疑ヲ懷ク場合ガアリマ
ス、又第三トシテ相像セラレル、モノハ、其病氣ノ固有ノ症
狀ガ著明デナイ、併ナガラ細菌學的ニ病原體ニ似テ居ル細
菌等ヲ發見スルトカ、或ハ病原體ヲ發見致シマセヌデモ、血
清反應トカ云フコトデ反應検査デドウモ傳染病デナイカ
ト疑ハレル場合ガアリマス、即チ斯ウ云フ反應ガアル以上ト
ハ、此病氣デハナイカト云フヤウナ疑ヲ懷カネバナラヌマ
リマス、過日衛生局長カラモ之ニ付テ大體言ハレマシタク
ラ、別段私ハ説明的ニ申上ゲマセヌガ、尙未碎イテ色々
レルノデアリマシテ、今申マシタ三箇ノ場合ハ、ドウシテハ想
疑似症トシテ認ムルニ足ル十分根據アルモノト想像シテ居
リマス、過日衛生局長カラモ之ニ付テ大體言ハレマシタク
ラ、斯ウ云フ場合ニハ疑似症トシテ認メナケレバナラヌ
ト、當局ハ認メテ居ルト云フコトダケヲ申述ベテ置キマス
○近藤委員 此改正案ニハ、豫防注射ト云フ事ニ付テハ相
學士二人居ラレマスノデ、唯ダ參考トシテ三ツノ大綱ニ付
テ、斯ウ云フ場合ニハ疑似症トシテ認メナケレバナラヌ
ト、當局ハ認メテ居ルト云フコトダケヲ申述ベテ置キマス
○近藤委員 此改正案ニハ、豫防注射ト云フ事ニ付テハ相
學士二人居ラレマスノデ、唯ダ参考トシテ三ツノ大綱ニ付
テ、斯ウ云フ場合ニハ疑似症トシテ認メナケレバナラヌ
ト、當局ハ認メテ居ルト云フコトダケヲ申述ベテ置キマス
云フ事ガ中々有效ニ認メラレテ居ル、殊ニ軍隊ニ於テハ強
制的ニ之ヲヤッテ居ルヤウデアリマス、此點ニ付テハ、當
隊ニ於テハ「チフス」ナドノ豫防注射ヲ強制シテ居リマス
併ナガラ之ヲ以テ一般ノ國民ニ當嵌メルニ付テハ、未だ適
當デナイト考ヘタノデアリマス、ソレニハ色々理由モアリ
ハ之ヲ強制的ニヤラウト云フヤウナ御考ハ持ツテ居ラヌ
デスカ

法ガ用ヰラレル、殊ニ双軍象ト申シテモ、單ニ一回注射デキ

云フ例ノミヲ以テ一般國民ニ注射ヲヤッテ居ルノデ、其時期
クシテ、二回モ三回モ注射ヲヤッテ居ルノデアリマス、斯立
デナイト考ヘタノデアリマス、今日迄一般ニ對シテ豫防注射
ヲ強制シテ居ルノハ、御承知ノ通り種痘ダケデアリマス
各種ノ豫防注射、豫防接種ニ付テハ相當ノ效果ハ認メマス
ケレドモ、マダ其效力ニ於テハ種痘ノ效力ノ程度ニ達シタ
モノデハナイ、又外國等ノ事ヲ考ヘテ見マシテモ、種痘以外
ニ國家ガ一般國民ニ豫防注射、豫防接種ヲ強制シテ居ル國民ニ
ハ無イ、内外ノ事情カラ考ヘテ見レバ、今日豫防注射ヲ強制
スルト云フコトハ、不適當ト認メマス、又實際強制法ヲ設ケ
テモ中々ムヅカシイ、「チフス」ノ如キモ軍隊ノヤウニ二回
ナリ三回ナリ出來ルモノダト宜シイノデスガ、一般國民ニ
一回ノ豫防注射ヲ獎勵シテモ中々出來ナイ、況ヤ二回三回
ト云フヤウナ豫防注射ヲ強制スルト云フコトハ、實行ノト
カラ申シテモ困難デアリマス、是ハ色々議論ヲ闘ハシタ
結果、今回ノ改正ニ於テハ、豫防注射ヲ國民一般ニ強制スルノ
ハ、注射ノ實質カラ云々テモ、又方法カラ云々テモ、見合ハ
方ガ宜カラウト云フコトニ決定テ致シタノデアリマス
○近藤委員 此改正案ニハ傳染病ノ中ニ癩ヲ加ヘテナイを
ウデアリマスガ、是ハドウ云フ御考デアリマスカ、之ニ對ニ
テハ政府モ相當御考慮ヲ拂ハレテ居ルコトハ承知シテ居ル
マスガ、之ニ對シテ防疫方法ガ更ニ講ジテナイヤウニ、法文
ノ上ニハ見ニルノデアリマスガ、是ハドウ云フ 方針ヲ以テ
進マレル御考デアリマスカ

存ジテ居リマス

アリマスカ、其點モ御伺シタイト思フノデアリマス、ソレカ

〇近藤委員 只今ノ所デハ癩ニ對スル豫防ハ、現在ノ程度

ラ又今年度ニ於テ精神病院ノ補助費カ十萬圓許リ計上サレ

デ御満足ト云フ御考デアリマスカ

アリマスカ、テアリマスガ、アレハ一體何所ト何所ニ補助ヲ爲サル御考

〇湖政府委員 癩ニ付キマシテハ、法律ノ關係カラ申シテ

モ、或ハ豫算ノ關係カラ申シテモ、隨テ施設ノ關係カラ申シ

テモ、衛生當局トシテハ只今ノ現状ヲ以テ満足シテ居リマ

セヌ、出來得ルダケ數年前カラ此方面ニ向ツテ、施設ヲ進メ

タイト考ヘテ居リマスガ、奈何セン各種ノ事情ニ制セラレ

テ、衛生局ガ考ヘテ居ルダケノ施設ヲ實行スル事ガ出來ヌ

ト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ存ジテ居リマス、併シ又今日私共

ノ計畫シテ居ル以外ニ、尙ホ調査ヲ致シテ居ルモノガアル

ノデアリマス、色々サウ云フ調査ノ既ニ付イタモノカラ漸

次著手スル事ガ、最モ必要ト考ヘテ居リマス、爰ニ一言申上

ゲテ置キタインハ、癩療養所ノ擴張ニ付テ、大正十年度カラ

新ニ金額ヲ貰ヒマシテ、既ニ東京關係ノ療養所ニ於テハ擴

張シテ居リマス、ソレハ唯夕私共ノ考テ、癩豫防ニ關スル改

善策ノ一端ニ過ギヌノデ、漸次地方ノ療養所ヲ擴張シ、或ハ

場合ニ依レバ國費ニ依ッテ癩患者ヲ收容シ、更ニ進ンデハ外

國ニ在ルヤウナ癩ノ自由村ト云フヤウナモノヲ造ツテ、安ラ

カニ療養シツ、天壽ヲ完ウサセルヤウナ方法モ、目下調査

ヲ致シテ居リマス

〇近藤委員 更ニ伺ヒマスガ、是モ急性傳染病デハナイノデ

アリマスガ、結核豫防法ノ中ニハ、喉頭結核、肺結核ノミヲ

含シテ居ルヤウデアリマスガ、其他ニ無論腸結核モアリ、皮

膚カラ來ルモノモアルノデアリマスガ、左様ナモノニ對シ

テモ、之ヲ適用スルヤウニ爲サラウト云フ御考ハ無イノデ

アリセウカ、單ニ列舉的ニ喉頭結核、肺結核、是ダケヲ加ヘ

テ規定シテ置イタ理由ヲ伺ヒタク、ソレカラ又結核豫防法

中ニ、結核療養所ヲ設置スルト云フヤウナ事ガ規定サレテ

アリマスガ、一向是方實行サレテ居ラヌヤウニ私共ハ見受

ケマスカ、又或箇所ニ於テハ其設置ヲ指定シテ置キナガラ、

是ハ醫者モ惡イノデセウ、地方民モ惡イカ知ラヌガ、殊ニ衆

議院議員ノ或者ナドガ來テ運動シテ、其實施期間ヲ猶豫シ

テ吳レト云フヤウナコトガアッタヤウニ聞イテ居リマスガ、ソ

レハ事情ヲ酌ミマシテ延期ヲ認メテ居リマスカ、他ハ一切是

認シテ居リマセヌ、ソレカラ精神病ノ方モ御承知ノ通り、大

正八年デアリマシタカ彼ノ法律ガ出來マシテ、精神病院法

ノ主眼トスル所ハ、道府縣立ノ精神病院ヲ建テルト云フノ

ガ目的デアリマスガ、遺憾ナ事ニハ補助費等ノ關係ガアル

爲ニ、今日其條文スラ施行ガ出來テ居リマセヌ、精神病院法

デハ第七條ト思テ居リマスガ、代用精神病院ニ關スル條

項、及ニ關係シタモノダケガ施行ニナツテ居リマシテ、折

角主眼トシテ居ル所ノ道府縣立精神病院ノ設置命令ヲ出

ト云フヤウナ御話デアリマスガ、此法律ノ效果ヲ完カラシ

ムル爲ニハ、相當ニ金ガ要ルノデアリマスガ、之ニ對シテ

大藏省ハ常ニ其說ヲ拒マレル爲ニ、甚ダ少額ノ支出金ヨ

リ外、得ラレナイト云フヤウナ狀況ニ在ルヤウニ聞イテ

居リマスガ、今後ニ於テ是等ニ點ニ付テハ十分ニ大藏省ノ

諒解ヲ得テ、適當ノ金額ヲ支出スルコトガ出來ル御見込デ

十數個所ノ代用精神病院ノ經常費ノ補助デアリマス、到底

之ヲ以テシテハ、精神病院法ノ精神ヲ貫徹スルコトハ出來

ヌト考ヘテ居リマス

〇近藤委員 此法案ノ趣旨ニモ、此補助額ヲ大分殖スヤウ

ニ御考ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ根本方實施サ

レルト、此目的通リノ施設ニ對スル金ヲ國庫ガ支出スルト

云フヤウナコトニ付テ、十分ナ御確信ガアルノデアリマセ

ウカ

〇湖政府委員 其點ハ大藏當局ノ同意ヲ得テ居リマスノデ

此法ガ出マスレバ「コレラ」ベストニ對シマシテハ、三分

ノ一行クト云フ確信ヲ持テ居リマス

〇近藤委員 本法施行期日ハ勅令ヲ以テ定ムルコトニナツ

テ居リマスガ、何時頃カラ是ハ御實行ニナル御考デアリマ

スカ

〇湖政府委員 成ベク早ク施行致シタク、殊ニ此夏時、即チ

傳染病ノ流行ノ時期ニナラヌ前カラ施行シタク、又命令シテ目下建

築ヲ急イデ居ル所モアリマス、是ガ完成シマスレバ、十三箇

所許ニナルノデアリマス、斯様ニシテ進行致シツツアルノ

デ評ニナルノデアリマス、斯様ニシテ進行致シツ、アルノ

デアリマス、斯様ニシテ進行致シツ、アルノ

デアリマス、今後ト雖モ出來ルダケ政府ノ諒解ヲ得マシテ、

國ノ豫算モ亦地方ノ財政モ考ヘテ、結核豫防ノ根本ノ一ツ

デアル所ノ療養所ノ擴張ヲ圖リタク、大ニ力

ヲ效シタク存ジテ居ルノデアリマス、唯夕御話ノ中ニ、或

方カラ延期云々ト云フ御話ガアリマシタガ、サウ云フ事實

ハ全クアリマセヌ、ドナクノ御話ニ依テモ、私ハ延期ハ一

ツモ認メテ居リマセヌ、唯夕函館ノ療養所ガ、命令ヲ致シマ

シタ後ニ大火ガアリマシテ、是ハ區長カラ北海道長官ヲ通

ジテ、公文ヲ以テ大火ノ後ノ財政上甚ダ困ルカラ、暫ク延バ

シテ吳レスカ——ソレモ一年以内カト思ツテ居リマスガ、ソ

レハ事情ヲ酌ミマシテ延期ヲ認メテ居リマスカ、他ハ一切是

認シテ居リマセヌ、ソレカラ精神病ノ方モ御承知ノ通り、大

正八年デアリマシタカ彼ノ法律ガ出來マシテ、精神病院法

ノ主眼トスル所ハ、道府縣立ノ精神病院ヲ建テルト云フノ

ガ目的デアリマスガ、遺憾ナ事ニハ補助費等ノ關係ガアル

爲ニ、今日其條文スラ施行ガ出來テ居リマセヌ、精神病院法

デハ第七條ト思テ居リマスガ、代用精神病院ニ關スル條

項、及ニ關係シタモノダケガ施行ニナツテ居リマシテ、折

角主眼トシテ居ル所ノ道府縣立精神病院ノ設置命令ヲ出

ト云フヤウナ御話デアリマスガ、此法律ノ效果ヲ完カラシ

スヤウニスルト云フヤウナ事ガ、往々アルヤウデアル、故ニ最モ地方醫師ノ學識アル團體ニ任シテヤラセルト云フコトニナレバ、醫師會トシテモ大ニ責任ヲ以テヤルト思フ、今日デハ醫師會モ地方ノ醫師會ノ會合ノ折ニ、藥價ノ相談ヲスルトカ時間ガアレバ何カ互ニ研究スル位ナ事デ、地方衛生ト云フ事ニ付テハ、餘り重キヲ置イテ居ラヌヤウデアリマス、之ヲ利用サレルナラバ、責任ヲ以テ各地方デモ大ニ地方衛生、茲ニ傳染病豫防、檢疫ト云フヤウナコトニ付テ、本當ニ仕事ガ學ツテ行クグラウト思ヒマス、又此終リノ方ノ條項ヲ見マスルト、届出ガ少シ後レルト、百圓以下ノ罰金或ハ三百圓以下ノ罰金ト云フコトデアリテ、舊刑法ニ較ヘルト非常ニ多額ノ罰金ニ科セラレル、先刻ノ御説明ニ依ルト、獸醫ノ方ガ誤ツテ居ルト思フ、非常ニ酷ナモノヲ獸醫ハ科セラレテ居ルモノト思フ、ソレ眞似ヲシテ人間ノ醫者ノ方ニ鉤合ガ取レヌカラヤルト云フコトハ、誤ツタル法案ノ眞似ヲスルモノト思フ、人格アリ、知識アリ、而シテ地方ニ信用アル所ノ醫師トシテ、此重大ナル責任ヲ有ツテ居ル以上ハ、左様ナ罰金刑ニ處セラルル人ハアルマイト思フガ、極メテ不便ナ所ニ至ルト、届出ヲシタクモ時間ガ許サズ、或ハシテ居ルモノハ爲ニ、已ムヲ得ズ罪ニ陥ルコトモアルノデアリマス、是等ハ私ハ反對スルノデス、斯ウ云フ苛酷ナ罰金等ニ處セラレルコトハ宜シクナイ、是ハ舊ノ法通りデ然ルベキモノト思フノデアリマス、其ニ付テ當局ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○ 政府委員 簡單ニ御答致シマス、醫師會ニ關スル問題ハ先程御答致シマシタ通リデアリマス、ソレカラ罰則ニ關スル事モ同ジク先程御答ヲ致シタ事デアリマシテ、私共ハ獸醫ノ方ト同ジニマデゼズシテ、之ヲ十分ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、決シテ眞似ヲシタ云フ譯デハナインデス、此程度デヤル必要ガ有ル、此程度ヲ越ス必要ハ無イト考ヘテ居リマス、醫師ニシテ三百圓以下、其他ノ者ニシテ百圓以下ニ二百圓以下ト云フノガ、今日ノ現狀ニ於テ已ムヲ得ザル適當ノ所ダト考ヘテ居リマス

○ 三浦委員 龜ニ希望ヲ言葉、雲フヤウナ事モ現在ヨリモ一層少クナカルト思フ、又其人格ヲ重ンジ、知識ヲ重ンジテ、ドウカス様ナ事ハ成ベク輕イ刑ニ處セラレルコトニシテ貴ヒタイト云フ希望デアリマス、故ニ私ハ此罰金ハ改正ノ方ニハ反對ヲ致シマス

○ 八木委員長 近藤君、今大藏次官ガ出席ニナリマシタ

○ 近藤委員 大藏當局ノ御出席ガアリマシタカラ御尋ヲ致シマスガ、本來内務省ニ定メマシタ結核豫防法、或ハ精神豫防法、其他ノ豫防法等ニ付テ、國庫ノ支出ヲ要スル場合ニ當テ、大藏省ガ常ニ金ヲ出し惜ミヲスルト云フヤウニ聞イテ居リマス、又内務省ガ實際ニ必要ナリト認メテ提案シタモノニ付テモ、餘程減額ヲスルト云フヤウナ實跡ガ、是迄度ト云フ事ニ付テハ、餘リ重キヲ置イテ居ラヌヤウデアリマス、之ヲ利用サレルナラバ、責任ヲ以テ各地方デモ大ニ地

關係アルモノデアリマシテ、他ノ不急ノ工事トカ施設トカニ金ヲ出スモノトハ、餘程趣ア異ニシテ居ルノデアリマスカラ、成ベクハ内務當局ガ國民衛生ニ關スル費用ヲ要求シタ場合ニハ、十分ニ満足サセルヤウナ方針ヲ今後執ツテ戴キタイト考ヘルノデアリマス、結核豫防上、或ハ精神病院ノ補助ニ於テモ年々餘リニ少額デアリテ、折角ノ法律ヲ目的ヲ達シ、國民保健ヲ向上スル上ニ於テ、何等ノ效果モ無イヤウナシト考ヘルノデアリマスガ、今後モ尙ホ僅少ナル支出ニ止メテ居ルヤウデアリマスガ、今日迄ノ如キ方針デ進マレル御考デアリマセウカ、又ハ出来ルダケ内務當局ノ是等ノ點ニ對シテノ要求ハ、御充タシ下サル御積リデアリマスカ、其點ヲ一應御伺シマス

○ 神野政府委員 御考ヘルノデアリマス、結核豫防上、或ハ精神病院ノ補助ニ於テモ年々餘リニ少額デアリマスカ、是ハ人々ノ意見デアリマスガ、是ハ人々ノ見方ニ依リマシテ、衛生ガ一一番國務中ノ最大重要デアルト見ル人モアリマセウシ、又他ノ事ヲ國務中ノ最大事務デアルト見ル人モアリマセウシ、是ハ人々ノ意見デアリマス、大藏省トシテハ亦大藏省ノ立場カラ見テ、孰レヲ上トシ、孰レヲ下トスルヤウナコトハ、是ハ要スルニ出來ナイ事デナイカト思ヒマス、デアリマスカラ、大藏省ニ於テモ相當ナ注意ヲ拂ッテヤッテ來テ居ルノデアリマスガ、要スルニ財源ノ問題デ、財源サヘアレバ、衛生ニ限ラズ何デモ相當ニヤッテ行キタイト云フコトハ、吾々ト雖モ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、ソレデ從來ハ少ナ過ギル、將來モト多ク出サナケレバナラヌト云フコトニナリマスレバ、之ニ相應スル財源ガ別ニアルカ、然ラズニハ他ノ經費ヲ減シテ、之ニ振り向ケルト云フ外ハ遣リ方ガナイノデアリマス、併シ成ルベク衛生ニモ他ニ劣ラズ重キヲ置クヤウニシテ、豫算ノ組方ニ付テモ注意ヲシテ貲ヒタイト云フ御希望ノ御趣旨ハ、成ベク伺ツテ置キマシテ、將來ノ豫算ノ編成ノ上ニ於キマシテハ、御希望ノ點ハ留意シテ、豫算ヲ編成スル場合ニモ其御趣意ハ成ルベク攻究致サウト思ツテ居リマス

○ 三浦委員 只今大藏當局ノ御答トシテハ御尤デアリ、又型ニ嵌ツタ御答デ、必ズサウ來ルグラウト考ヘテ居タガ、衛生ハ他ニ劣ラズ支出セヨト云フ思召ハ尤ト云フ御話デアリマスガ、此御話ヲ以テ見レバ、他ノモノヨリハ衛生ガ劣テ居リマス、故ニ私ハ此罰金ハ改正ノ方ニハ反對ヲ致シマス

○ 潮政府委員 傳染病豫防ニ限ラズ、一切ノ保健ニ關スル事ハ、所謂一般ノ理解ト云フコトガ勿論、根本ダラウト思ヒ

ト云ウテ、實效ガ満足ニ擧ルモノデハナイ、各種ノ方面カラ一般ノ保健衛生ニ關スル思想ヲ涵養シテ行クト云フコトモ最大事デ、又施設ト致シマシテハ、優勢傳染病、消化器傳染病豫防ト云フコトニ付キマシテハ、水道デアルトカ、下水デアルトカ、或ハ塵埃汚物ノ始末デアルトカ、今後ニ於テモ出來得ベキダケ力ヲ盡シテ行カナケレバナラムト思ヒマス、併ナガラ此點モ御承知ノ通り、水道ノ補助ニ致シマシテモ百六十万圓ニ過ギナイ、又地方團體ノ財政ノ上カラ申シマシテモ、サウ一時ニヤル譯ニハ行カヌ、テ今日ノ所デハ財政ノ許ス範圍ニ、國家モ公共團體モ出來得ベキ限度デ力足ノ盡スヨリ外ハナイト思ヒマス、ソレニ加フルニ斯ノ如キ傳染病豫防法ヲ相當時勢ニ適スルヤウニ規定シテ參テ、有ユル方面ニ有ユル施設デ以テ行クヨリ外ニ、中々國民保健ノ問題ヲ解決スルコトハ不可能デアル、吾々ハ出來得ベキダケ經費モ要求致シ、各方面ノ施設モ、法律モ改正致シ、或ハ一般衛生思想ヲモ喚起シマス、斯ウ云フ方面ニ目下力ヲ盡シテ居リマス、又將來ト雖、原則トシテハ之ニ過ギナイト思フノデアリマス

○三浦委員　此事ニ付テドウシテモ根本的ニ傳染病ヲ驅逐スル、即チ傳染病ガ大流行ヲ如メタ時ニ、豫防法ヲ講ズルコト云フコトハ無論必要デアリマスルシ、衛生思想ヲ發達セシムルコトモ無論必要デアル、又今日ノ日本人ノ衛生思想ハ極メテ低級デアルカラ、是モ教育ニ依テ或ハ種々ノ方法ニ依テ向上セシムルコトハ、無論必要デアリマスガ、先づ塵芥、汚物等ノ排除、上水下水ノコトニ御盡力ナサレルコトモ、是モ當然ノ事デアリマスガ、之ヲ實行的ニ積極の方針ヲ採ラレテ、上水下水ノ改善、ソレカラ汚物ノ排除、即チ糞便ノ排除、是ガモウ第一ノ原因ヲ爲シテ居ルノデアリマスカラ、是等ニ付テ内務省ハ近キ將來ニ於テ大イニ上水下水、竝ニ廁所設備、又個人ノ住宅トシテモ、苟モ傳染ノ媒介トナルヤウナ事ハ根本的ニ之ヲ改善セシムル、無論ソレハ一朝ノデアリマス、其點ニ付テハ目下ノ混用便所ヲ別々ニ爲サト云フヤウナ御考ハナイデアリマセウカ

○潮政府委員　只今ノ御話ノ御要點ハ、私共全ク御同様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、無論水道、下水、汚物、其他各般ノ施設ニシマシテモ一朝一夕ニハ参りマセス、現ニ家屋ノ如キモ市街建築法ニ依リマシテ、追々粪便ノ始末トカ、廁所工事合モ漸次改良シテ行カウト思フノデアリマス、唯夕法律ヲ作り、或ハ規則ヲ定メマシテモ、多少ハ民情程度ト云フモノ

モアリマスルシ、是等ノ事ト、相俟テ進ンデ行クコトニ考
ニ對シテ大シタ事モナイデアリマセウガ、唯タ三浦君ガ先
程反対デアルト述べラレマシタ事ノ外ニ、御異論ガ無イヤ
ウニ認メマスカラ、若シ御修正ガアリマシタラ、更ニ修正案
ヲ出シテ戴キタイト思ヒマス
○中馬委員 此罰金ノ刑ハ物價賠費ニ伴ウタ結果デアリマス、
セウガ、餘り物價指數ニ伴ハナイヤウニ思フノデアリマス、
殊ニ餘リ突飛ノ上グ方デアッテ、是ハ已ムヲ得ナカツタカ知
リマセスガ、行政處分ダケデモ好イヤウニ思フ位ノモノデ
アリマスカラ、司法處分トシテ罰金ヲ科スルナラバ、從來ノ
通リノ罰金デ十分ト考ヘテ居ルノデアリマス、醫師ト云フ
「プロフェッショナル」持ッテ居ル者ニ對スル所以デナカラウ
ト思フノデアリマスカラ宜シク從來ノ儘ノ罰金刑ニシテ置
クコトニシテ、此改正案ニハ反対ヲ致シマス
○八木委員長 中馬君ノ修正案出マシタガ、私ハ委員長ヲ
離レテ反対シタイ、ソレハ理由ハ私モ認メマスガ、一寸ソレ
マデニ御尋シナケレバナラヌノハ、「科料」ト云フ字ハ置ク
ノデスカラ
○中馬委員 「科料」ハ置イテ宜シウゴザイマセウ、元ノ通
リ——現法ノ通り
○八木委員長 單純ナ理由カラ申シマスレバ、是ガサウ云
フ事ガ根據ニ出来テ居ラテ、現行法ヲ良イトモ認メラレマス
ルデアリマセウケレドモ、種々ナル法律關係カラソレヽ
ノ専門ノ方ニ諸ラレ、比較研究シタ結果デアラウト思フ、中
央衛生會ニモ諮リ、法制局モ經テ斯様ナ結果ニナツタノデア
ラウト思ヒマスガ、是等ハ見様ニ依リマスル、デ私ハ是ハ
原案ヲ賛成シタイト思ヒマス
○齋藤委員 私ハ原案ニ賛成デス、三百圓以下ト云フノデ
スカラ、尻ノ方ハ止マッテ居ナイノデス
○近藤委員 三浦君、中馬君ノ御意見ニ賛成シマス、此罰
金ハ他ノ權衡上ト云フ御話デアリマスルガ一般日本ノ刑法
ノ關係カラ見マスト、三百圓以内トナツテ居ルノハ、餘程重
い罪デアリマス、私共醫者ノ人格ヲ認メタイト云フ考カラ
ト考ヘマスガ、醫者ノ人ノ立場カラ云フナラバ、絕對反対ス
ベキモノダト考ヘテ居ルノデアリマス、所謂醫者ノ人格ヲ認
メ、又醫者自ラガ、自己ノ地位職責カラ考ヘマシタナラバ、斯
隱蔽ナドノ出來ル咎ハナインデアリマスカラ、斯ウ云フ嚴

重ナル規定ヲ設ケル必要ハ私ハ無イト思フノデアリマス、ソレカラ又一體此法律案ノ改正ノ精神ガ全ク姑息のデアルコトハ明瞭ナ次第デアッテ、醫者ノ職權マデモ勤カスヤウナガ本當ダト思フノデアリマス、又此中ニ先刻御話ノアリマシタ不適當ナ文字ガ所々ニ「人民」トカ其他ニモアルヤウデアリマスガ、其等ノ點ニ付テモ意見ハアリマスケレドモ、先づ當局ニ於テモ適當ノ文字トハ思ハヌト云フヤウナ御話デアリマスカラ、其等ノ點ハ深ク咎メヌト致シマシテ、兎ニ角罰金ノ點ニ對シマシテハ、私ハ原案ニ反對致シマス

○八木委員長 採決致シマス

○三浦委員 是ハドウカ政黨派ノ問題デナシニ、公平ニ考ヘテ戴キタイ

○八木委員長 ソレナラバ一言申シマスガ、無論政黨トカ政派ノ問題デハアリマセヌ、左様ナ事ヲ仰シヤツテ戴カナクテモ、左様ナ事デナイト云フコトハ認メマス、ソレト同時ニ醫者ノ人格ヲ認マルト云フコトナラバ、是ハ全部廢止シタイ、人格ヲ認メテ人格ニ干涉スルト云フヤウナコトハ全ク廢止シテ、三浦君ノ言ハレル如ク、醫師會全體ノ自治デ之ヲヤラセルト云フコトハ、其精神ニ於テ贊成シマスガ、奈何セシン醫者トシテモ、醫者ガ悉ク人格ヲ認メラル、醫者バカリデハナイ、少ナクトモ國家ノ上カラ見タナラバ考ヘナケレバナラヌ、考ヘナケレバナラスカラ此制裁モ認メルノデアリマス、現行ノ科料ガ果シテ人格通リデアルカト云フニ、決シテサウデナイ、人格論ニ依ッテ罰金刑ノ多イ少ナイト云フ事ヲ言フノハ、根本ニ於テ間違テ居ル、巡査トカ、役場吏員トカ、何トカ云フ衛生ニ携ハル者ノ責任ヨリハ、確ニ醫者ノ方ガ多イ、故ニ此場合ニ於テ人格ニ依ッテ罰金ヲ少ナカシロト云フコトハ、議論ニナラヌト私ハ思テ居ル

○近藤委員 八木サンニ御尋シタインデスガ、他ノ刑法トノ比較、日本ノ法律ノ刑法罰ノ上カラ適當ナリヤ否ヤト云フコトノ比較ニ付テノ御説ヲ伺ヒタイ

○八木委員長 近藤君ハ御専門デ仰シヤルノデアリマセウガ、現ニ先程大林君が言ハレタコト、又過日政府委員ガ辯明セラレタ所謂司法省ノ申出ヲ承タリシテ、當識ノ判断ニ依ッテ私ハ考ヘテ居ル——三浦君ノ方ハ少數意見トシテ御出ニナレバ鬼ニ角……

○中馬委員 少數意見トシテハ出シマセヌ

○八木委員長 ソレデハ少數意見ハ潰レマシタカラ、二案共原案ノ通り可決、修正案ハ否決ニナリマシタ、此旨報告致シマス、是テ散會致シマス

大正十一年三月十七日印刷

大正十一年三月十八日發行

參議院事務局

印刷者 印刷局